



9月8日、渡辺復興大臣が気仙沼市、南三陸町を訪問しました。気仙沼市では、南町紫神社前商店街を訪問し、商店街の復興状況を伺うとともに、内湾地区の整備状況を視察しました。また、南三陸町では、福祉・交流施設の

復興推進委員会WG が気仙沼市を訪問

8月29日、有識者などで構成される復興推進委員会の下に設置された『東日本大震災の復興施策の総括に関するワーキンググループ』の構成員が気仙沼市を訪問し、遺構・伝承館を視察しました。WGは県内他市町や岩手県・福島県を視察した結果も踏まえて議論を行い、復興推進委員会において、これまでの復興施策の総括を行います。



結の里を訪問し、地域住民の方が企画された交流 イベント「結の青空レストラン」を視察しました。





進む震災復興【南三陸町震災復興祈念公園】 ~ 追悼と鎮魂の場、早期開園に向けて ~



をテーマに志津川市街地の八幡川西側約6.3haで整備が進められています。2016年度末に着工し、今年12月の一部開園と2020年10月の全面開園に向け鋭意工事が進められています。公園西側に整備する「祈りの丘」は、海抜20mの築山で志津川湾から周辺の山々の稜線まで眺望ができ、頂上部に犠牲者名簿を安置する碑を設置し海に向かって祈りをささげる場所となります。また、津波災害時などの一時避難に備え防災備品などを保管できるベンチを設けるなど防災備蓄機能も兼ねています。頂部に通じる「記憶のみち」は、地震発生から志津川地区に大津波(最大波)が到達したときまでの時間と出来事を園路上に表示し震災の記憶と教訓を伝える区間となります。

公園の中央部に「記憶の広場」を設け、町の記憶を伝えるモニュメントとして円形のメモリアルレリーフ(石版)を設置し、震災前の志津川地区の地図を描写します。また、「語り継ぎの広場」の西側には、町の未来に向けたメッセージを刻んだモニュメント「復興祈念のテラス」を設置、一般公募によりモニュメントに刻むメーセージも2018年9月に決定しており、早期開園が望まれています。

現在工事は、築山及びその周辺部において鋭意進められています。今年12月に一部開園する予定箇所は、「祈りの丘」を含む一部であり、事業を担当する南三陸町復興推進課では、「一部開園に向け、スケジュールに影響がないよう各関係機関と工程調整を密に行いながら工事を進めていきたい。」とのお話を頂きました。



・ファン・マステン 令和元年度「復興・創生インターン(夏期)」成果報告会

~ 経験と笑顔を持って帰る ~

9月13日(金)、気仙沼・南三陸ブロックにおいて「復興・創生インターン(夏期)」の成果報告会が開催されました。両ブロック合わせて、9企業に学生14名が参加しそれぞれの企業の経営課題解決に取り組みました。期間中は地域の人々との交流も経験し、被災地域の魅力に触れる貴重な時間を過ごしました。



成果報告会では、緊張しながらも充実した 1か月間の活動について、趣向を凝らした プレゼンテーションを行い、発表後には企業 の皆さんから感謝と労いの言葉をいただき 笑顔で研修を終えました。この経験が今後 の活躍につながることが期待されます。

◆支所長コラム

9月に入りましたが夏日を記録する日々がまだまだ続いております。日々の気温の変化も大きくなり季節の変わり目を感じ始めました。宮城県内では今季初のインフルエンザによる学級閉鎖が発生しており、過去10年で最も早いとのことです。例年12月~1月に流行の傾向があるようですが、予防、体調管理に心がけ皆様どうかご自愛ください。さて、9月11日に内閣改造が行われました。田中和德新復興大臣が就任され、大臣からは「被災者の心に寄り添い一人一人の思いを受け止め、現場主義を第一に対応を継続する」旨ご挨拶がありました。被災地の復興の総仕上げに向け、できることは全てやり遂げるという気概を持ち復興に取り組む必要があり、支所としても現場主義の徹底や、被災者に寄り添った地域目線に心がけ引き続き課題解決に取り組んでいきたいと思います。

復興関連イベント

各地で開催される復興イベントをご紹介します。

【10月6日(日)】 ひころマルシェ2019秋

~南三陸町~

南三陸町入谷地区にあるひころの里野外で、「この土地でつづく暮らし」をコンセプトに毎年2回開催されている同イベントは、太陽光電源のライブステージ、子ども遊び場、体に優しいカフェやランチのコーナー等があり、子どもから大人まで楽しめるオーガニック思考のマルシェです。

開催時間 10:00~15:00 ひころマルシェ実行委員会 ☎0226-25-9517 【10月12日(土)~10月13日(日)】 気仙沼サンマフェスティバル2019

~気仙沼市~

今年で8回目を迎える同イベントが 気仙沼市波路上瀬向(JFみやぎわかめ 流通センター横)で開催されます。 「気仙沼に足を運ぶきっかけになれば。。」という主催者の願いが込められて おり、今年も入場料無料、炭火焼サンマも 無料配布予定です。

毎年豪華なアーティストが出演しており、今年の出演アーティストも公式サイトで発表されています!

公式サイト ⇒ https://sanmafes.com/

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

<u>復興庁HP</u> (http://www.reconstruction.go.jp/) ⇒ <u>宮城復興局</u> ⇒ <u>気仙沼支所だより「つちおと」</u>

【編集後記】

◆猛暑の記憶も薄れて来た今日この頃、水が冷たくなってきました。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所 電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310